

「(仮称)宇都宮市地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりプラン」(素案)
に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 令和5年1月17日(火)～2月6日(月)
- (2) 意見の応募者数 6名(男性 3名, 女性 3名)
意見数 11件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数		3	2	1	6

2 意見の処理状況

区分	処理区分	件数
A	意見の趣旨等を反映し, 実施設計に盛り込むもの	4件
B	意見の趣旨等は, 実施設計に盛り込み済みと考えるもの	4件
C	実施設計の参考とするもの	件
D	実施設計に盛り込まないもの	件
E	その他, 要望・意見等	3件
計		11件

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方 (方向性)
1	A	<p>《P 3 3》</p> <p>総評について、各基本目標について、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したと記載されているが、総評の記載の仕方として、「第4次計画の後期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言の発出に伴う外出自粛などの行動制限や事業の中止、延期などにより、計画の進捗が厳しかったが、全体としては概ね順調に進捗した」と記載した方が分かりやすいのではないか。</p>	御意見の内容を反映する。
2	E	<p>《4 6 P》</p> <p>「福祉都市宣言」を基本理念に位置付けていることは素晴らしいと思うが、「福祉都市宣言」は制定されてからかなりの年数を経ており、現在の市民意識とは違っているところもあると思う。特に、「ハンディキャップを持った人々」という言い方は、健常者との比較をしているように聞こえ、今時は、このような意識を持っている方はいないのではないか。可能であれば、基本理念と位置付けるのだから、今後は、今時の市民意識を踏まえたものとすることも検討してはどうか。</p>	御意見は参考とする。

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方 (方向性)
3	A	<p>《P 4 8》</p> <p>イメージ図に「スーパースマートシティ」と「福祉のまち」の関係を簡単な説明文言を記載した方が市民に分かりやすいと思う。</p>	<p>説明文を追記する。</p>
4	B	<p>《P 4 8》</p> <p>自助と互助を強調しているように見える。「共生型地域包括支援センター」と「保健と福祉の相談窓口」が包括的に関わるのはわかるが、このイラストだと「自助・互助」と「公助」を分断しているように見えてしまう。</p> <p>自助と互助、公助と共助がそれぞれ絡み合って地域共生社会は作られると思う。ただ、それを実際にイラストや図に落とすと見えづらくなってしまおうとは思いますが、ご考慮願いたい。</p>	<p>市・地域・行政が連携・協働により「自助と互助、公助と共助がそれぞれ絡み合っ て」地域共生社会の実現に向けて、地域福祉の推進に取り組むという考え方は盛り込んでいる。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方 (方向性)
5	E	<p>《P 6 1》</p> <p>第4次計画の後期が、新型コロナウイルスの影響を受け、外出自粛などの行動制限が市民に課せられた状況などから市民意識が低くなってしまったのではないかと。これらのことからすると、現状値が33.7%だからと言って、第5次計画の施策事業を考慮すれば、もう少し高い設定をしてもよいのではないかと。</p>	<p>御意見は今後の計画推進の参考とする。</p>
6	A	<p>《P 7 0》</p> <p>成果指標である参加者延べ人数110,000人としているが、受け皿となる地域の居場所づくりはどうか。参考でも良いので、居場所の整備状況も記載すべきではないかと。</p>	<p>居場所の整備状況を市民にPRするためにも、これらの設置数を参考として追記する。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方 (方向性)
7	A	<p>《P 8 4》</p> <p>目標として新規取組である共生型相談窓口での実績を目標としていると思うが、現状値がないのはわかるが、現状では支援に繋げている相談がないように見えるため、参考として、市役所と4地区市民センターで実施している保健と福祉の相談窓口の実績を記載とすると、今でも行っているもののバージョンアップを図ることが分かりやすくなり、また、現在でも市民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう対応していることがアピールできるのではないか。</p>	<p>市役所と4地区市民センターで実施している保健と福祉の相談窓口における実績を参考として追記する。</p>
8	E	<p>市民の幸福度を施政の評価の指標にしてはどうか。(ほか1件)</p> <p>また、幸福度の低い人の個別詳細調査もした方が良い。</p>	<p>御意見は今後の計画推進の参考とする。</p> <p>(幸福度については、その定義によるが、様々な分野の施策が影響すると思われる。</p> <p>幸福度が低い人については、状況把握に努めていく。)</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方 (方向性)
9	B	<p>アウトリーチ宅配はコミュニケーション能力があり、市民に信用される人でないといけないため、地域の実情を知るためにも市職員全体の業務として義務化してはいかがか。</p>	<p>市役所を含めて市民の信用を得た方がアウトリーチを行うという御意見の趣旨は盛り込んでいる。</p>
10	B	<p>複数の分野の取組が盛り込まれていることや、2つの計画がひとつになっていることを踏まえると、これまでの計画名では、複数の分野の取組が盛り込まれている理由や2つの計画の関係性など、何のための計画であるのかを捉えにくいことから、計画名を、「地域共生社会の実現に向けた」としたことは、計画の目的が明確となり、とてもわかりやすくなるとともに、「地域共生社会」を知ってもらおうという意味でも良いと思う。</p>	<p>2つの計画を合わせて愛称として計画名に「地域共生の実現」と盛り込んでいる。</p>

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方 (方向性)
11	B	<p>「地域共生社会」はとても大切な考え方であると思うが、自分も含めて、知らない方が多いのではないか。この計画が宇都宮市の目指す「地域共生社会」を知ってもらおう一つのツールになると思うので、計画を知ってもらい、計画の目的や取組について理解し、行動してもらおうための周知啓発がとても大切であると思う。今は多くの媒体があることから、それらを活用し、多くの方に計画や取組を知ってもらい、理解してもらえよう周知を行うと良いと思う。</p>	<p>地域共生社会の理解促進に向けた周知啓発という御意見の趣旨は盛り込んでいる。</p>